

第100回 日本選手権 監督者会議資料

1 競技について

- (1) 本競技会は、2024年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選10レーン、B決勝・決勝・タイムレース決勝最終組8レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。ただし、女子800m自由形・男子1500m自由形は、予選と決勝を行う。女子1500m自由形・男子800m自由形はタイムレース決勝とし、最終組は決勝時間に行う。
※女子1500m・男子800m自由形自由形は、組み替えを行う場合があるので注意すること。
- (3) 決勝は、予選の結果、上位8名が出場できる。ただし、棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (4) B決勝・決勝の進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。スイムオフならびに競技規則第3条6の対象者は、当該競技終了後直ちにリゾリューションデスクへ集まること。
- (5) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は3名とする。
- (6) 本大会は、国際大会の代表選考会を兼ねるため、外国籍の競技者は予選のみ出場することができる。外国籍選手は、監督者会議後に申告すること。
- (7) 招集は、競技開始10分前から行う。本人確認のため、招集所にはADカードを持参すること。招集の際に水着の確認を行う。
- (8) 予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、9時10分までにリゾリューションデスクに届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は、棄権料3,000円を徴収する。また、無断で棄権した場合は、さらに罰金3,000円を徴収する。B決勝・決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内に、棄権料3,000円を添えてリゾリューションデスクに届け出ること。
無断で棄権した場合、届け出用紙の提出が遅れた場合は、罰金3,000円を徴収する。
- (9) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。ただし、指名を受けた選手は、自分のレーンから退水し、直ちにフラッシュインタビューを受けること。
- (10) 800m自由形・1500m自由形の周回通知は、水中ラップカウンターを使用し、コールは行わない。
- (11) 公式計時 SEIKO による計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (12) 選手紹介は、予選は組のみの紹介、B決勝は各レーンで紹介、決勝は入場ゲート前で紹介を行う。
- (13) 本競技会は上訴審判団を設置する。
- (14) 本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用されるので、常にADカードを携帯すること。

2 表彰について

- (1) 1位から3位にメダルを授与し表彰する。1位から8位に賞状を授与する。
- (2) 予選・B決勝・決勝とも、ミックスゾーンでインタビューを行う。
- (3) 決勝の1位および指名された選手は、各競技終了後に、NHKによるフラッシュインタビューを行う。
- (4) 賞状の受け取り、記録証の発行は、選手受付で行う。記録証の受付発行は、選手受付で行う。
記録証の発行時間 — 9:30から予選終了後1時間、決勝競技開始から決勝終了後30分とする。

3 全体スケジュール

日 時	事 項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
3月19日(水)	公式練習日	11:00	練習時間 11:00 ~ 18:00				18:30
3月20日(木)	1日目	7:15	9:30	11:20	16:00	18:04	18:50
3月21日(金)	2日目	7:15	9:30	11:38	15:36	18:08	18:50
3月22日(土)	3日目	7:15	9:30	13:06	16:00	18:03	18:50
3月23日(日)	4日目	7:15	9:30	11:08	15:30	18:05	18:50

4 プールの使用について

(1) メインプール

- ① 水深は3m、水温は27.5℃に設定する。
- ② 練習は競技開始15分前までとする。
- ③ 0・9レーンはダッシュレーン、1・2レーンはペースレーンとする。
- ④ 0レーンのスタートは、折り返し側から、9レーンはスタート側からの一方通行とする。
- ⑤ パドル・コード類の使用を禁止する。
- ⑥ 公式スタート練習は行わない。

(2) サブプール

- ① 水深は3m、水温は27.5℃に設定する。
- ② 1レーンは、ダッシュレーンとする（バックストロークレッジを設置する）。
- ③ 8レーンは、ペースレーンとする。
- ④ パドル・コード類の使用を認める。安全面に十分留意すること。コード類の使用については、9レーンでのみ許可する。
- ⑤ レーン割りは、状況により変更することもある。

5 水泳場の使用について

- (1) ADカードを持っている選手・付添以外は入館できない。
- (2) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げて携行すること。また入退館に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償(3,000円)にて再発行を受けること。ただし、付添者ADカードの再発行は行わない。
- (3) 館への入場は、3月19日(公式練習日)は1階東側のみとする。3月20日～23日は、2階東側のみとし、外出時の入退場は2階東側・西側を利用できる。(会場図参照)
- (4) 館への入場後、選手控え場所・プールサイドへ入る際には、上履きに履き替えること(土足禁止)。
- (5) 選手席・サブプールの選手控え場所は、公式練習日から使用できる。
- (6) 選手席・選手控え場所以外は、場所取り禁止とする。
- (7) 選手席後方のスペースは、ストレッチスペースとして使用できるが、場所取り禁止とする。バランスボール・メディシンボールを投げることは禁止する。
- (8) マッサージ台は、選手控え場所、1階エントランス、3階エントランスに設置できる。事前申請を必要とする。なお、トレーナーオープンブースを設置する。

- (9) トレーニング施設は、右記の日時で利用できる。20日～23日(9:30～17:00)
- (10) アイスバスは、サブプールの指定場所に設置できる。事前申請を必要とする。氷の購入・搬入は各チームで行う。申請書式、給水・排水等の注意事項は、HPに掲載する。icoolタイプおよび電動ポンプで、電源を使用する場合は、申請時に記載すること。設置場所の詳細については、現地で指示する。
- (11) 陸上でチューブトレーニングを行う場合は、サブプールの監視台に取り付けて行うこと。5mフラッグのポール、ドアのノブ、スタジオの柵等に付けることはできない。
- (12) メディシンボールを床に投げるトレーニングは、館の外スペースの通路で行うこと。
- (13) スタジオ内の用具には触れないこと。用具の移動、用具の上に水着を干すことはできない。
- (14) サブプールのプールサイド周辺・観客席の3階は、グループごとの選手控え場所とする。選手控え場所はHPに掲載する。
- (15) 荷物は、入館日から3月23日まで、3階選手席後方の車いすスペースに置くことができる。2階一般観客席の車いすスペースには置くことができない。
- (16) 更衣はメインプール更衣室を使用し、サブプール更衣室はトイレのみの使用とする。更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できるが施錠はできない。更衣室を控え場所としたり、食事をしたりすることはできない。練習終了後は荷物を持ち帰ること。置き荷物は忘れ物として扱う。
- (17) メインプールを使用した際は、更衣室で水気を拭き取り後、エントランスに出ること。エントランスでは上履きで通行すること(裸足禁止)。
- (18) 観客席の2階席は一般観客席とする。予選の一般観客は予選終了後退出し、その後、決勝の一般観客入場とする。
- (19) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (20) 引き続き感染対策を怠らないこと。

6 注意事項、その他

- (1) 全ての競技者は、競技終了後、予選・B決勝・決勝を問わず、ミックスゾーンを通り退場すること。
- (2) 決勝時のビブスゼッケン着用義務を順守すること。
- (3) 盗難防止のための貴重品の保管については、各自の責任において管理すること。
- (4) プログラムは1部2,000円、4日間の予選スタートリストは1部500円、決勝スタートリストは、水泳連盟HPで公開する。
- (5) テレビ放送予定 (NHK(BS)のLIVE放映)
 - 3月20日(木) 16:30～18:00
 - 3月21日(金) 16:00～18:00
 - 3月22日(土) 16:30～18:00
 - 3月23日(日) 15:55～18:00
- (7) 全日の予選競技を、YouTubeにてLIVE配信する。
- (8) 競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。
 - ① SEIKO 競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)
 - ② 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<https://sp.j-swim.jp/>)